

# 第31回「地方発！ベンチャー企業ミートアップ」 ～地方発ベンチャー企業の創出・成長支援～

地方の成長意欲の高いベンチャー企業に対してプレゼン機会を定期的に設け、東京圏のVC・大企業等とのネットワークを構築する機会を提供し、ベンチャー企業の成長を応援します！

## 2021年2月4日(木) 16:00-17:20

### オンライン開催

supported by



#### ■ 登壇企業



**テクノゲートウェイ株式会社**（千葉県木更津市）  
空間全体を除菌・抗菌・抗ウイルス化  
安心安全のウルトラソニックスプレーの事業化へ



**ナオライ株式会社**（広島県呉市）  
時をためて、人と社会を醸すナオライが造る世界中の人の細胞を震わせる  
SAKEの歴史を変える浄酎PurifiedSpirit



**株式会社A-SEEDS**（東京都台東区）  
ウイルスを使わない日本初のCAR-T療法



**KOTOBUKI Medical株式会社**（埼玉県八潮市）  
日本のものづくり力で手術トレーニングの未来をつくる。  
コンニャク模擬臓器がもたらす医療技術の発展

外部資金の調達

販路開拓・人材紹介

事業会社との提携

supported by



テーマ	空間全体を除菌・抗菌・抗ウイルス化 安心安全のウルトラソニックスプレーの事業化へ	期待事項
	古くから抗真菌・抗菌・抗ウイルス用途として用いられる中鎖脂肪酸塩（天然石鹼に配合されている成分）。これを希釈、水溶液にしたものを超音波振動子で霧化、ナノ粒子として噴霧することで空間全体の除菌・消臭VOC除去する効果に着目。2020年10月に特許出願。噴霧用デバイス（ウルトラソニックスプレー）の開発と中鎖脂肪酸塩活用空間除菌液の量産化、その販売事業の構築を望む。	資金調達 業務提携 販路拡大
PR事項	千葉県木更津市発「安全・安心・快適を化学技術で実現 未来へのゲートウェイ」をコンセプトに研究開発を行う。クラウドファンディングを活用したDtoC開発・販売を開始。従来の珪藻土加工を見直し、柔らかく珪藻土バスマットを製品化（世界初）。新型コロナ禍の2020年にはマスク、手洗い商品で大きな支持を集める。現在、大本命の空間除菌（特許出願済）商品を開発中。 [クラウドファンディング累積実績] 出品13回、調達額26,856,164円（2020年12月10日現在）※12月末より新商品を出品中 [過去の受賞歴] ・ひまわりベンチャー育成基金認定 ・千葉県経営革新認定 ・千葉県ものづくり認定 ・木更津商工会議所優良会員企業表彰	

ナオライ株式会社 代表取締役 三宅 紘一郎

テーマ	時をためて、人と社会を醸すナオライが造る世界中の人の細胞を震わせるSAKEの歴史を変える 浄酎PurifiedSpirit	期待事項
	世界中でSAKEの人气が高まっているが、日本酒は新鮮な酒が価値が高いと一般にされており、時間のかかる海外流通にはあまり向かない。日本酒を非加熱で浄溜し熟成がきくライスウイスキーのようなお酒「浄酎」にすることで、海外に出せば出すほど価値が高まり輸出を促進できる。各地域の日本酒酒蔵と海外や日本全国の市場を「浄酎」を通じて繋げていきたい。また、有機米から醸される日本酒を浄酎に加工する際に生まれる発酵したエキスをコスメや医療の現場に活用していく。	販路拡大 広報活動
PR事項	・広島県・東京大学主催イノベーションアワード2019 オーディエンス賞・審査委員特別賞 ・第5回知的財産活用表彰 知的財産活用奨励賞デザイン部門 2017年に開発したナオライの一作目の商品「MIKADO LEMON」（スパークリングレモン酒）が知的財産活用奨励賞デザイン部門を受賞 浄酎でもMADE IN JAPANの商品として対世界の知財戦略を強化していく。 ・始動2020 シリコンバレー選抜チーム	

株式会社A-SEEDS 代表取締役 眞鍋 幸子

テーマ	ウイルスを使わない日本初のCAR-T療法	期待事項
	昨年、ウイルスを使用したCAR-T療法がノバルティスファーマからキムリアの名前で日本でも認可され、その薬価が3349万円と超高額なことでも話題になった。信州大学医学部小児医学教室の中沢教授が開発したウイルスを使わない日本初のCAR-T療法は、PiggyBacという酵素を使った方法で、主な原材料がプラスミドであるため製造方法もシンプルである。このため、より安価に安全にCAR-T療法を患者様に届けることが可能である。また、開発中のGMR-CARについては、動物実験で効果が確認されていることから、難治性の骨髄性白血病に対しての効果が期待される。	資金調達 広報活動
PR事項	信州大学医学部小児医学教室の中沢教授のPiggyBacトランスポゾン法を使用したCAR-T療法の事業化のための信州大学発ベンチャー企業。GMR-CARの開発を通して骨髄性白血病で苦しむ子供たちを始めとして、効果的な医療を届けたいという思いで有志が資金を持ち寄り設立。	

KOTOBUKI Medical株式会社 代表取締役 高山 成一郎

テーマ	日本のものづくり力で手術トレーニングの未来をつくる。コンニャク模擬臓器がもたらす医療技術の発展	期待事項
	コンニャク粉で作られる模擬臓器VTT（Versatile Training Tissue）を中心とした手術トレーニング製品事業。実際にVTTを使ったシミュレーション動画（腫瘍摘出、血管剥離、粘膜切除等）と、VTTのメリット（低コスト、衛生的、動物愛護、サステナビリティ等）を紹介。なぜ、手術トレーニングはあまり行われていないのか？その解決にVTTがどのように貢献するのか？を解説する。当社が提供する模擬臓器VTTとそれを活用するための周辺装置やプログラム開発が、現在未発達の手術トレーニング市場で大きく成長し、「世界中の医師がVTTを使ったトレーニングを当たり前に行う世界」を実現させるまでの事業目標をプレゼンする。	資金調達 業務提携 販路拡大
PR事項	代表高山が父から受け継いだ町工場(株)寿技研では、金属、樹脂加工・機械製作等なんでも屋の町工場として下請けの仕事をしてきた。リーマンショックで売上が激減、自社製品開発に取り組み、2012年腹腔鏡手術トレーニングBOXを製品化し多品種化・ネット販売などを進め、その1アイテムとして2015年コンニャク模擬臓器VTTの開発スタート、製品化へと進んだことから2018年この部分を別会社化し、ベンチャー企業として事業拡大を図る。 ・2015年渋沢栄一ビジネス大賞特別賞 ・2015年グッドデザイン賞 ・2018年ぐん銀ビジネスサポート大賞 ・2018年埼玉県医療機器コンテスト準グランプリ ・2019年株式投資クラウドファンディングFUNDINNOで8930万円（国内最高額）、REVIC(ぐんま医工連携ファンド)より3000万円資金調達	